

学校関係者評価報告(令和4年度)

令和5年度の学校関係者評価委員会を開催し、「青山建築デザイン・医療事務専門学校の令和4年度自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日:令和5年5月27日(土)

学校関係者評価委員:

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 白田 智樹 白田建築事務所 主宰
3. 本間 純子 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 取締役
4. 吉田 智恵美 医療事務学科2年 保護者
5. 岡村 亜弥 平成24年3月診療情報管理士専攻科 卒業

青山建築デザイン・医療事務専門学校

高林副校長、加藤広報部部長、

佐藤教務部次長、矢野学生部次長、武川教務課長

令和4年度 自己点検・自己評価・学校関係者評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

(1) 教育理念・目標	自己点検・評価
<p>1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)</p> <p>本校の教育方針は「本校は、学校教育法第124条及び125条に基づく専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・監理・デザイン・施工、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>教育方針について令和4年度一部を修正した。今後も産業界の変革等に適合させて行きたい。また、HPや学生便覧にて学外や学生に対しても公開している。</p>
<p>2)教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。</p> <p>本校においては上記の教育方針の他、校訓、教育目標、さらに年度毎に経営方針が設定されている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>学外や学生の他、本校教職員に対しても、4月8日の入学式と同日に開催された新年度連絡会にて非常勤講師も含め、教職員に周知されている。</p>
<p>【委員会の意見等】 特になし</p>	

(2) 学校運営	自己点検・評価
<p>1)寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか。</p> <p>私立学校法の改正に伴い、令和2年3月に寄附行為を改定した。また、平成26年4月に教務規定は改定している。それらに従い理事会、評議員会、校務運営会議、教職員会議等を実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年5月20日と令和5年3月9日に定例の理事会・評議員会を実施。令和4年9月8日と令和5年1月18日にカリキュラム・授業料等の変更に伴い、臨時の理事会・評議員会を実施した。また、原則月2回の校務運営会議と教職員会議を実施した。</p>
<p>2)理事会・評議員会の議事録は公開されているか。</p> <p>各理事会、評議員会毎に議事録署名人を選任して議事録を作成し保管している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>公開はしていない。 今後の課題としたい。</p>
<p>3)教職員の健康診断がされているか。</p> <p>毎年、4月・5月中に教職員が日本健康倶楽部に行き、各自受診している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は4月中から5月中に実施。</p>

<p>4)授業評価の実施・評価体制はあるか。</p> <p>授業評価は、前期終了後に学生による授業評価(無記名のアンケートを実施し、その評価内容を各担当教員に知らせて、授業改善に役立てている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は8月に実施。担当教員は授業改善に役立てている。</p>
<p>5)人事に関する制度を整備しているか。</p> <p>就業規則、非常勤教職員就業規則、給与規程、退職金規程、旅費規程、慶弔見舞金規程、育児休業規程、介護休業規程等を整備している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年3月に関連法の改正により、就業規則の一部を改定し、労働基準監督署へ届出。その都度適正なものとしている。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： 授業評価のアンケートは毎年行っているのか？学生からシビアな意見は出るのか？ 学校： 自由記述欄があり、具体的に記載してくる学生もいる。 集計後、コメントも含めて各担当教員に配布し、出来る限り回答に応えたいと考えている。 授業内で出来ないことは、自主研修の時間を使ってフォローしていきたい。</p>	

(3) 教育活動	自己点検・評価
<p>1)シラバスあるいは講義要綱(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開され)、授業で有効活用されているか。</p> <p>毎年3月末までに、各担当教員がシラバスを作成し、教務部にデータで提出し、検討確認後ホームページで公開している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>学生には、授業初めに授業運営進度計画表を提示し、各シラバスについてはホームページで公開している。</p>
<p>2)企業・地域・行政との連携を図っているか。</p> <p>教育課程編成委員会(年2回)と学校関係者評価委員会を設けて、外部の委員と連携し意見を募っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は、6月25日と11月12日に教育課程編成委員会を、9月10日に学校評価委員会を実施。外部委員からの意見を頂いた。</p>
<p>3)公共のマナーについて、教育・指導しているか。</p> <p>毎年前期に1年生を対象にマナー講座を実施して、社会人としての公共のマナー教育・指導を行っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は5月24日と5月31日にマナー講座を実施し、学生に公共のマナーについて教育・指導した。</p>
<p>4)作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。</p> <p>後期の授業が終了後に制作発表展を設けているが、制作発表展の前日に作品発表会を校内で実施している。各学生の作品を学生と教員で評価し、成果を把握している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は2月16日に作品発表会を実施して作品の評価を行った。</p>

【委員会の意見等】

委員： 社会人になってから、所々で役に立った。特に少人数の為、細かく指導があった。
 学校： 医療系はビジネスマナーや秘書概論の授業内でマナー講座を実施している。
 委員： マナー講座(建築系)は、2回で足りているのか？卒業間近でもう一度行った方が良いのではないか。
 学校： 今後検討したい。
 委員： 地下歩行空間での制作展はとても良い刺激になっている。今後も続けて欲しい。
 学校： 今年度は、2月16日～18日の3日間で行う。

(4) 学習成果・教育成果	自己点検・評価
<p>1)就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善をはかっているか)</p> <p>後述する「(5)学生支援」の就職支援制度により、前年度に引き続いて高い就職率を実現することができた。卒業年次については、就職希望者52名全員が内定、別科である建築研究科は修了生32名中29名(90.6%)が内定を得た。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>コロナ渦を経て、エントリーシートと同時に自己紹介動画の提出を求められたり、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッドの面接試験が定着した。教職員側も柔軟に対応しながら、今年度も高い就職率を目指す。</p>
<p>2)学生の就職活動に関する記録がなされているか</p> <p>クラス担任が学生に報告書を提出させ、就職課で管理・保管している。報告書は、①会社訪問・説明会報告書、②就職活動連絡票 ③就職試験報告書 ④内定報告書 ⑤インターンシップ・内定者研修報告書 の5種類がある。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>左記の報告書によりクラス担任だけではなく、複数の教員での連携した指導が可能となっている。また次年度以降の就活生の参考資料としても活用している。</p>
<p>3)対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)</p> <p>ホームページでは、過去3年間の学科別・男女別の卒業生数に対する就職者数、進学者数、就職先実績を掲載している。パンフレットでは、過去5年間の就職率、就職先実績、業種別割合、大学編入実績を掲載している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>本校への進学を検討する生徒・保護者、高校の先生に向けての資料になるため、見やすさにも配慮している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： インターンシップから就職へは繋がっているのか？ 学校： 建築系はあまり繋がっていない。インターンシップに参加する学生も二極化しており、意識の高い学生と低い学生に分かれるが、行った学生は就職への意識も高まる。また、建築系学科は希望者がインターンシップに行くが、医療系学科はカリキュラムに組み込まれており、実習から就職に繋がる学生もいる。来週から3週間病院実習が行われる。 委員： 学生全員が建築系の業界に就職しているのか？ 学校： 業界の就職率も高くなっており、昨年度は他業種への就職者ないなかった。(1名が実家の家業へ就職した)</p>	

(5) 学生支援	自己点検・評価
<p>1)進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)。</p> <p>入学前に、オープンキャンパスや学校案内のパンフレットで周知している。入学後は1年次5月のマナー講座、10月の就職支援講座①、2月の就職活動セミナー、女子学生を対象としたメイク講座、2年次4月の就職ガイダンス、校内での履歴書用写真撮影、6月の就職支援講座②によりサポートしている。保護者には毎年7月に実施している保護者等懇談会およびその案内文にて、サポート体制について周知している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>左記の支援により高い就職率を実現できた。今後も、クラス担任と就職課が連携して支援する。</p>
<p>2)企業からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開しているか。</p> <p>紙媒体の求人票は、本校2号館1階の掲示板に掲示するとともに、同じものをファイルに綴って卒業年次のクラスに置いている。更に、在校生がアクセスできるサイトから、最新の求人情報を閲覧する事も可能である。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>左記により、学生が学外からでも求人情報を閲覧できるように配慮している。</p>
<p>3)学生の面談・相談記録があるか。</p> <p>日々の相談窓口は各クラス担任が中心となり、学生の相談に応じるようにしている。また、専任講師による「こころ相談室」を5月より毎週金曜日の午後開設している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は、専任講師による1件の相談があった。最近は、精神的に弱い学生が増えてきている為、担任がこまめに指導している。</p>
<p>4)学生の健康管理を担う組織体制はあるか。(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)</p> <p>毎年、4月の授業開始直後に、各学生に対して学校内にて健康診断を実施している。また、健康相談窓口としては、各クラス担任が相談窓口となっており、状況に応じて、受診するよう指導している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は4月15日に健康診断を実施した。</p>
<p>5)退学者数を公開しているか。</p> <p>学校のホームページで公開している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度の「大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書」12ページに掲載。</p>
<p>6)学校は同窓会との連携を図っているか。</p> <p>毎年、卒業式の前日に、卒業学生に同窓会案内を配布するとともに、常勤の教員が副会長になり、同窓会との連携を図っている。(令和4年度から定年により非常勤講師となった)</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は3月の卒業式後の卒業パーティにて同窓会の説明を行った。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： 同窓会でのOBとの交流は大切である。学生にもOBの話を聞ける場を設けたらよいのではないか。</p> <p>学校： 新型コロナが流行してから開催されていない。また同窓会は卒業生の単なる集まりとなっている。また学校は平日に授業を行っている為、中々時間調整が出来ないが、企業説明会内で卒業生が来たりすることもある。</p> <p>インターンシップや病院実習先に卒業生がいるため、そこで話を聞くことが出来る。</p>	

(6) 教育環境	自己点検・評価
<p>1)教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか。</p> <p>中長期計画のもとに、毎年の事業計画により整備している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は2号館コンピュータ室のPCの入替を実施。令和5年度は合同講義室の椅子の入替、令和6年度は1号館エレベーターのリニューアル工事、1号館コンピュータ室のPCの入替等を予定している。</p>
<p>2)学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。</p> <p>清掃を委託している業者による環境衛生検査を毎日実施し、毎月末に報告をうけている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は特に問題点は無かった。</p>
<p>3)学校における安全管理の整備を行っているか。</p> <p>各種設備等(エレベーター・ボイラー・GHP・受水槽・機械警備・ガス水道設備・キューピクル・消防用設備など)は定期的に点検整備を実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度は特に問題点は無かった。また、昨年の学校関係者評価員会において、危機管理マニュアルについての意見があり、現状のマニュアルをさらに充実(感染症対策など)させて行きたい。さらに令和5年度より学校組織図に危機管理室を位置づけ機能しやすくした。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>特になし</p>	

(7) 学生の受入れ募集	自己点検・評価
<p>1)学生募集活動は、適正に行われているか。</p> <p>コロナの行動規制が見直され対面式の各進学ガイダンス数多く開催され実施されたガイダンスにすべて参加し、学校、学科、分野などについて説明した。高校訪問も緩和され全道の高校教員に対して学校説明等を行う事ができた。体験入学の開催、ホームページやSNS等利用し、学校の最新情報等、発信した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>コロナ過の行動規制が見直され進学ガイダンスや高校訪問が実施できるようになった。LINEも定着し、入試に関する質問も多くなっている。</p>
<p>2)入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか</p> <p>来校されて見学や説明を希望される方は随時受付している。また、フリーダイヤル、メール、LINE、それぞれから問い合わせができるようにしている。また、オンライン(ズーム)での個別相談にも対応している。入学希望者に対して入試制度等を説明する入学準備説明会を2回実施した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>TELやメールよりもLINEを通しての質問等が増加している。オンライン個別相談は実績は無し。入学準備説明会はLINEで気軽に質問できるようになった為、2回開催で参加者4名。年々参加数が減少している。</p>

<p>3)体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか</p> <p>高校生や保護者、および入学希望の既卒者を対象とした体験入学(オープンキャンパス)を開催している。施設見学、体験実習、入試制度・就職状況説明、進学相談会などを実施。遠方からも参加しやすいように地域に応じた交通費の補助を行っている。また道内各地域から無料送迎バスを運行している企画も取り入れ、実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>予定通り31回開催した。通常体験入学が19回、日帰り無料バス体験入学が11回、無料宿泊付きバス体験入学を1回実施した。開催にあたり行政からの感染予防の要請・指導を遵守し、運営、開催した。</p>
<p>4)学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)。</p> <p>「学生募集要項」を作成し、各種入学制度の選考について詳しく明記している。また、入学に必要な学力や、スキル等については学生募集要項の「入学資格」項目内において(1)高等学校卒業の者及び※2023年3月高等学校卒業見込の者。※令和4年度募集の為(2)「高等学校卒業程度認定試験」に合格した者及びこれと同等以上の学力を有する者と認められた者。と記載、明示している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>入学希望者における要件等に変更がない為、現状を維持したい。</p>
<p>5)社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか。</p> <p>現役の高校生以外にも既卒者の方も積極的に受け入れしている。学校案内やホームページ等にも社会人から入学し、卒業就職したケースを紹介している。また、本校は職業実践専門課程の認定を受けている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>建築系分野および医事系分野について職業実践専門課程の認定を受けており、社会人に対しても質の高い教育を提供している。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員： 高校生からのLineによる問い合わせはLineで返答するのか？ 学校： Lineで返答する。 委員： 小児科に勤務しているが、最近の若い人はクローン病や潰瘍性大腸炎などが増えており、進学先の学校も対応してくれない所があると聞く。青山はどのように対応しているのか？ 学校： 事前に報告があれば、出来る限り対応している。</p>	
<p>(8) 教育の内部質保証システム</p>	<p>自己点検・評価</p>
<p>1)個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか。</p> <p>個人情報・特定個人情報 保護管理体制図を制定し、「青山建築デザイン・医療事務専門学校のプライバシーポリシー」を作成、各教員へ周知させている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度においても体制を維持している。</p>
<p>2)学校関係者評価結果を公表しているか。</p> <p>学校関係者評価委員会終了後、速やかに本校HPに公開している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>令和4年度の学校関係者評価委員会はコロナの影響を考慮し9月10日としたが、北海道学事課より実施時期が遅いと指摘を受けた。</p>

<p>【委員会の意見等】 特になし</p>

(9) 財務	自己点検・評価
<p>1) 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか 毎年5月に法人の業務、法人の財産状況、理事の業務執行状況等の監事(2名)による監査を実施している。監査報告書を作成し、定例理事評議員会にて監査報告をしている。また、会計士による監査も同日に実施しているが、会計監査報告書の作成は免除されている。</p>	<p>【点検評価】 令和4年度の監査は5月10日に実施し、5月20日の理事会・評議員会にて監査報告した。</p>
<p>2) 財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか 平成27年4月に設定の情報公開の基本方針に基づき、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、監査報告書をHPに公開している。</p>	<p>【点検評価】 過去3年分を公開している。令和3年度は定例理事評議員会終了後に公開。</p>
<p>【委員会の意見等】 学校：5月9日に令和4年度の監査が終わり、HPに公開している。</p>	

(10) 社会貢献・地域貢献	自己点検・評価
<p>1) 地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか。 北海道から委託を受けている公共職業訓練については、「医療事務エキスパート科」「CADエキスパート科②」の2講座を受託し、求職者を対象とした職業訓練を実施した。</p>	<p>【点検評価】 公共職業訓練については、47名が修了した。修了から100日後の就職率は3割～4割程度である。</p>
<p>2) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 札幌市委託事業の障害者活動支援事業で、施設で製造したパンやお弁当の販売を学校で行っている。また、文部科学省が推進している中学生を対象とした職場体験「次世代人材職業体験推進事業」においては、新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意しながら、積極的に受け入れを行った。</p>	<p>【点検評価】 学校施設を利用した地域貢献については今後の検討課題である。「次世代人材職業体験推進事業」については、令和4年度は26校112名の受け入れを行った(令和3年度は7校35名)。</p>

【委員会の意見等】

委員： 中学生対象の職場訓練ではどのような授業を行っているのか？

学校： CADの授業を行っている。平面で家具を配置したりし、それを3Dで立体的に起こすため、中学生はとても喜んでいる。

委員： 中学は進学か就職かによって高校を選択する大事な時期のため、とてもよいことである。全道から中学生が来るのか？

学校： 主に地方の中学生が修学旅行で来た際に行っているが、今年から札幌市内の中学も参入することとなった。

学校： 最後に何か意見があればお願いしたい。

委員： 近隣の高校や大学は学祭などの行事の際には協賛を依頼してくる。

青山も学祭や制作展のイベント毎に医療機関や企業に協賛をお願いしたらどうか？

学校： 今後検討したい。